

2023年度省エネ大賞

省エネ事例部門

省エネルギーセンター会長賞受賞

「ZEB」とウェルネスを両立した、中規模オフィスビル『SUSTIE®（サスティエ）』

三菱電機冷熱プラント株式会社は、一般財団法人省エネルギーセンターが主催する2023年度（令和5年度）省エネ大賞において、当社の施工による「ZEB 関連技術実証棟『SUSTIE®（サスティエ）』」が、「省エネルギーセンター会長賞〈省エネ事例部門〉」を、三菱電機株式会社等と共同で受賞※1致しました。



「SUSTIE」は、今後の需要拡大が見込まれる ZEB（net Zero Energy Building）に対応する省エネ技術の開発・実証施設として2020年10月に竣工しました。高度なビル設計技術、高性能で汎用的なビル設備および最先端 IT 技術を融合し、建物の省エネ性と居住者の快適性という相反する要求を最高レベルで両立しました。SUSTIE は設計段階で中規模・中層ビル（延床面積 6,456m²・4 階建て）、かつ太陽光パネルを建物上のみを設置する条件で BELS 認証の『ZEB』※2を取得。敷地面積に余裕がない都市部の立地条件においても実現可能な中規模ビルでの『ZEB』を達成しております。また、居住者の快適性や健康性への配慮を評価する WELL 認証のプラチナと CASBEE スマートウェルネスオフィスの S ランクを取得し、3つの認証全てで最高ランクを取得した国内で初めて※3の事例になります。

※1 共同受賞／三菱電機株式会社、株式会社三菱地所設計、株式会社竹中工務店、株式会社弘電社、三菱電機システムサービス株式会社

※2 1年間の一次エネルギー収支がゼロまたはマイナスの建築物。ZEB の定義における最高ランクの評価

※3 2022年7月29日時点、三菱電機株式会社調べ